

真ん中から編む透かし柄のブランケット（改訂版）

* - *



- 使用糸…ポッベルコットン
- 使用針…棒針 5号
- 使用量…約 200g（1玉）

* - *

■ 編み方

- ① 8目作り目し、棒針4本に2目ずつ分けます。



私はかぎ針で目を作りましたが、棒針で作る方法もあるので、好きな方で…

「クンストレース 作り目」等で検索すると、いろんな動画が見れますので、分からない場合は検索してみてください。

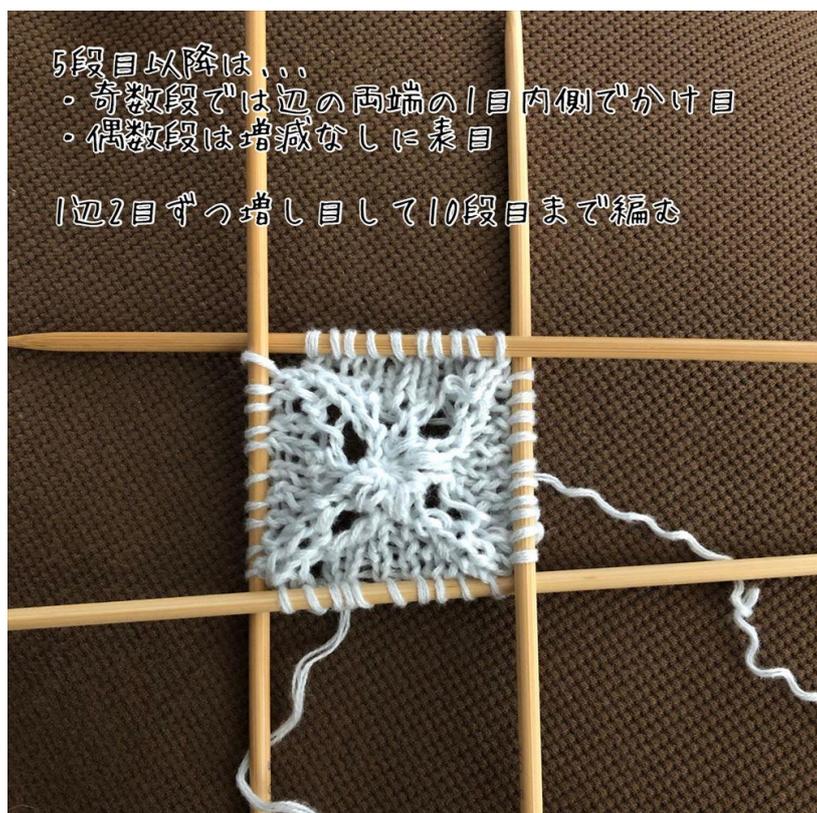
② 1段目・2段目は増減なしに表目を1辺2目（1周8目）編みます。



③ 3段目では、かけ目・表目・かけ目・表目と編み、1辺4目（1周16目）にします。4段目は増減なしに表目を編みます。



④ ここから奇数段で 1 辺の両端の 1 目内側にかけ目を入れて増し目、偶数段では増減なしの表目を編み、10 段目まで編みます。



⑤ 11 段目からは模様が始まるので、編み図の通りに透かし柄で編んでいきます。



⑥ 編み図は省略していますので、ピンクの 16 段 1 模様を繰り返します。44 段目までは編み図通りに、45 段目以降は 16 段を繰り返します。



辺の真ん中で模様が切り替わるので、分かりにくければ真ん中に印を入れておきましょう。

端の目は編み図通りに、真ん中から右は濃いピンクで左はオレンジで色付けしている 8 目を繰り返します。

16 段 1 模様を好きなだけ繰り返し、好みの大きさになったら模様の 1 段目を編み、さらに裏目を 1 段、表目を 1 段（端の内側でかけ目）、裏目を 1 段（前段でかけ目したところは、ねじり目の裏目で編みます）編みます。

見本のブランケットは、108 段目まで模様を編み、109 段目は 16 段 1 模様の 1 段目、さらに裏目表目裏目と 3 段編んで 112 段編みました。

⑦ ここから縁編みに入ります。縁編み自体は 1 模様 8 目 4 段になりますが、辺の両端の増し目している部分は水色で色付けしている 16 段を繰り返します。

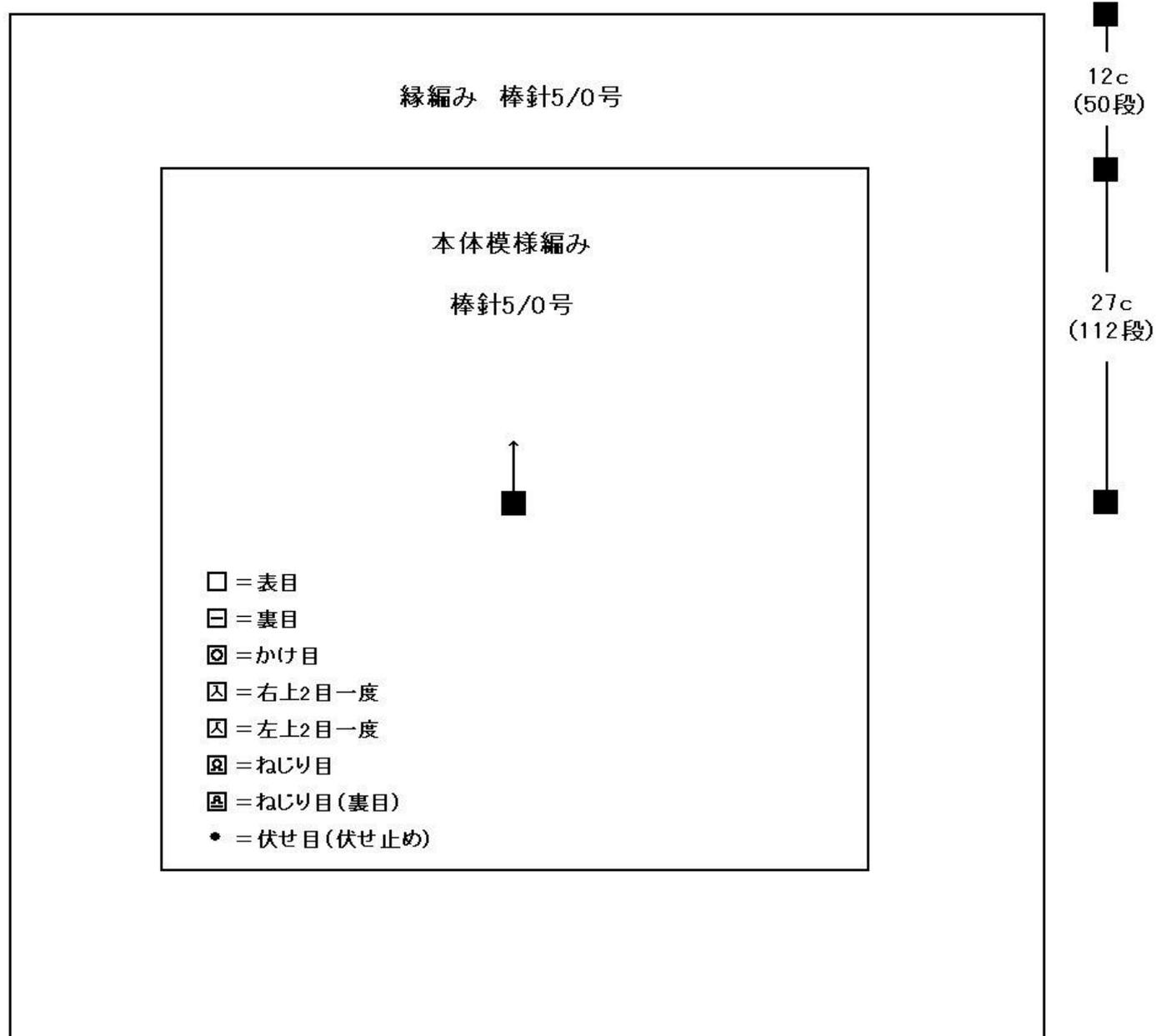
端の部分はかけ目の次の段を普通に表目で編む箇所とねじり目にする箇所、またねじり目にして裏目に編む箇所がありますので、間違えないようにしてください。

縁編みは 16 段を繰り返しますが、偶数段であれば模様の途中で終わっても構いません（見本では 48 段）。

好きな分量で縁編みが編めたら、表目を 1 段（辺の両端の内側でかけ目）、裏目を 1 段（前段のかけ目したところは、ねじり目の裏目）を編み、最後は表目を編みながら伏せ止めして完成です。

※ サイズ図・編み図は次のページにあります。

■ サイズ図



※ 編み図は省略しています。模様の繋がりが分かりにくならないように、編み地自体に空白を入れていませんので、一部（ ）内で記載している目数と編み図の目数が異なります。

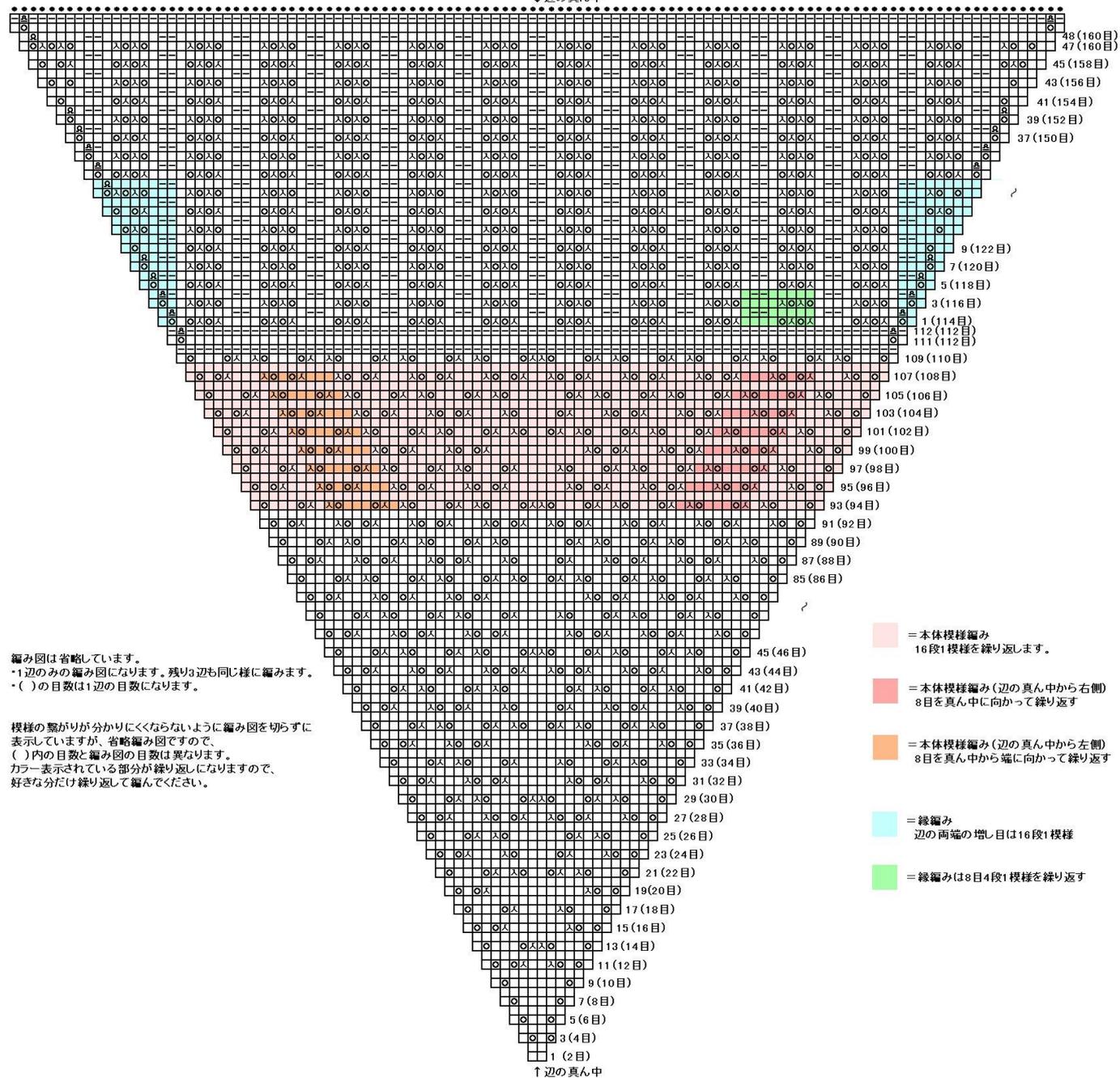
繰り返し部分を色分けしていますので、お好きなサイズ感で編んでください。

※ また少しでも編み図が大きく見えるよう、全体の編み図の他に本体模様編みと縁編みとを分けた編み図も掲載しています。これは本体と縁編みを分けて編むという意味ではありません。中心から縁編みまで繋げて編んでください。

■ 編み図 (後身頃)

16段の縁編みを好きなだけ繰り返したら、表1段裏1段編み、最後は表目を編みながら伏せ止めます。

↓ 辺の真ん中



編み図は省略しています。

*1辺のみの編み図になります。残り3辺も同じ様に編みます。
 ・()内の目数は1辺の目数になります。

模様の繋がり分かりにくくならないように編み図を切らずに表示していますが、省略編み図ですので、
 ()内の目数と編み図の目数は異なります。
 カラー表示されている部分が繰り返になりますので、好きな分だけ繰り返して編んでください。

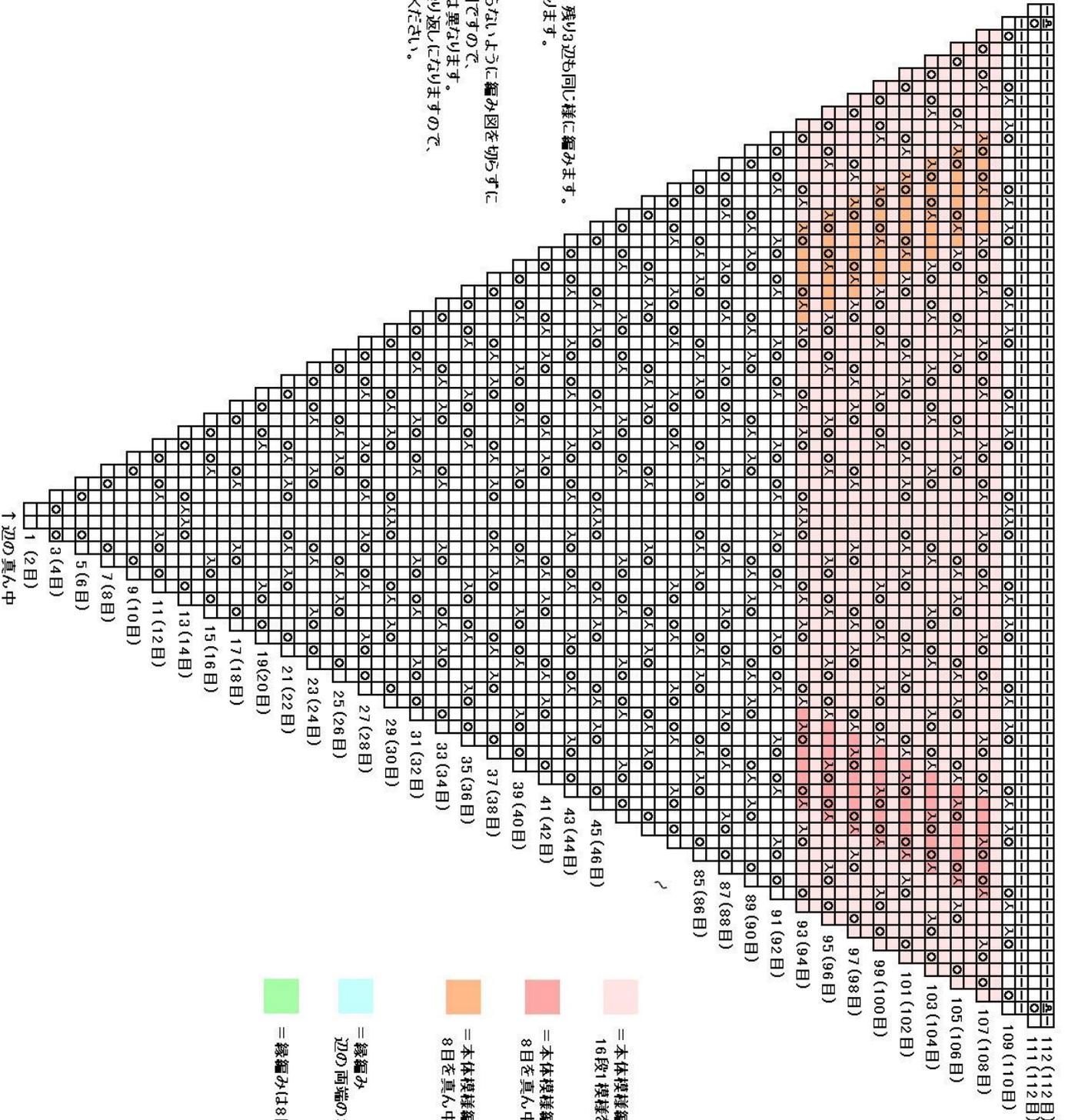
＝本体模様編み
16段1模様を繰り返します。

＝本体模様編み(辺の真ん中から右側)
8目を真ん中に向かって繰り返す

＝本体模様編み(辺の真ん中から左側)
8目を真ん中から端に向かって繰り返す

＝縁編み
辺の両端の増し目は16段1模様

＝縁編みは8目4段1模様を繰り返す



編み図は省略しています。
 ・1辺のみの編み図になります。残りの辺も同じ様に編みます。
 ・()の目数は1辺の目数になります。

模様の手がかりが分かりにくくならないように編み図を切らずに表示していますが、省略編み図ですので、
 ()内の目数と編み図の目数は異なります。
 カラー表示されている部分が繰り返しになりますので、好きな分だけ繰り返し編んでください。

本体模様編み
 16段1模様を繰り返します。

本体模様編み(辺の真ん中から右側)
 8目を真ん中に向かって繰り返す

本体模様編み(辺の真ん中から左側)
 8目を真ん中から端に向かって繰り返す

縁編み
 辺の両端の増し目は16段1模様

縁編みは8目4段1模様を繰り返す

↑ 辺の真ん中

16段の縁編みを好きにだけ繰り返したら、表1段裏1段編み、最後は表目を編みながら伏せ止めます。

↓ 辺の真ん中

